

お詫びと訂正

本誌121巻3号掲載の総説「第118回日本耳鼻咽喉科学会総会シンポジウム耳鼻咽喉科・頭頸部外科学研究の最前線 ウィルス発癌研究の進歩—上咽頭癌と中咽頭癌の類似点と相違点—」において、図の改変引用についての記載、および該当論文の参考文献としての掲載がされておりませんでした。お詫びして訂正いたします。以下のように図に追記するとともに、文献9を追加いたしました。

176ページ、図3 HPV感染から発癌への過程

文献9より許可を得て改変引用

177ページ、図4 HPV E6遺伝子発現が細胞に与える影響

文献9より許可を得て改変引用

177ページ、図5 HPV E7遺伝子発現が細胞に与える影響

文献9より許可を得て改変引用

178ページ、図6 EBV関連胃癌と非関連胃癌におけるPD-L1発現例

文献17より許可を得て改変引用

179ページ、文献

以下の文献を追加し、これ以降の文献番号を繰り下げる

- 9) Sano D, Oridate N: The molecular mechanism of human papillomavirus-induced carcinogenesis in head and neck squamous cell carcinoma. Int J Clin Oncol 2016; 21: 819–826.